

給湯・暖房での省エネを推進しましょう。

現在の給湯・暖房の取組状況をチェック して、冬の省エネの参考としてください。

台所ではお湯を出しっ放しにしないようにしましょう。



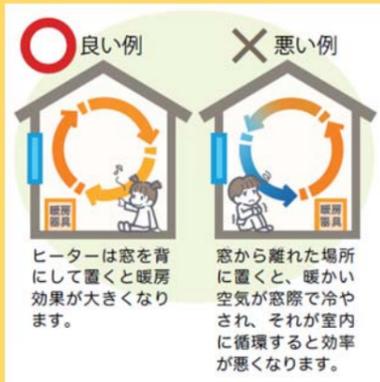
シャワーではお湯を適量使用しましょう。



浴槽に湯はりを行った後は、間隔をあげずに、家族が続けて入浴するようにしましょう。



ヒーターを使用する場合は、窓際に置きましょう。



暖房時には、適度な「湿度」を保ちましょう。湿度が高いと温かく感じられます。



風向きを上手に調整しましょう。暖房の場合、風向板は下向きにしましょう。



エアコンやファンヒーターの性能をフルに活用するため、フィルターをこまめに掃除しましょう。



エアコンの室外機の吹出口に、物を置かないようにしましょう。物を置くと、暖房の効果が下がります。

電気カーペットやこたつを使用する場合は、床の上に断熱マットや敷布団などを敷きましょう。

天気の良い日は、できるだけ窓から日射を取り込むようにしましょう。

夜間はカーテンやブラインドを用いて、窓から熱が出ていくことを防ぎましょう。

資源エネルギー庁資料より作成

講演会のご案内

地球温暖化と私たちの未来 — 新年を迎え、もう一度考えよう —

今起きていること、将来起こること、そして、私たちの暮らしへの影響について、国際的にご活躍の国立環境研究所 江守正多さんに、わかりやすく解説していただきます。

講師紹介



1970年神奈川県生まれ。1997年より国立環境研究所に勤務。2013年より地球温暖化研究プログラム総括、2016年より低炭素研究プログラム総括、専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書主執筆者。

日時 平成30年1月6日(土) 12:30 開場

・講演会 13:00~15:00

参加費無料/申込不要/当日先着 60人

*講演会終了後、講師を囲んでの意見交換会も実施します。

(30分ほどの予定)

講師 国立環境研究所

地球環境研究センター 江守 正多さん

会場 市民交流センター2 階会議室

冬こそ省エネ

夏と冬では、どちらがエネルギー消費量(電気・燃料等の消費量)が多いと思いますか。

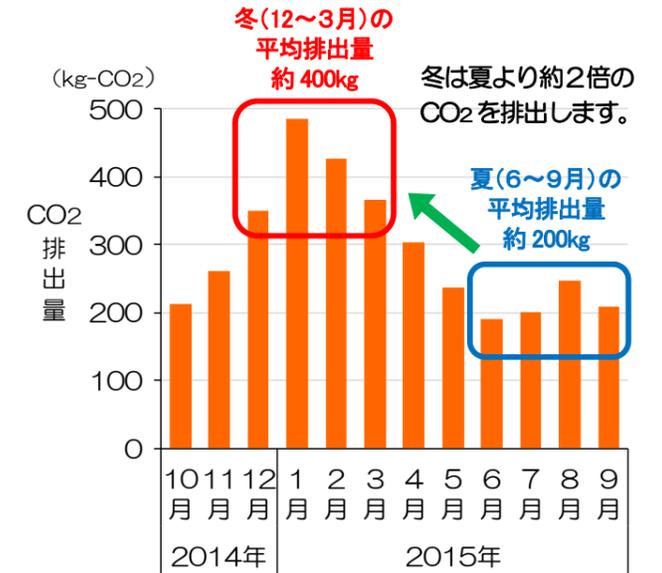
エネルギー消費量は、夏よりも冬の方が多いのです。

エネルギー消費に伴い、地球温暖化の原因となるCO₂(二酸化炭素)が排出されますが、1世帯からのCO₂排出量は、冬は夏の約2倍に増加します。

これは、冬は暖房の使用や給湯の増加などによって、エネルギー消費量が増えるためです。

省エネルギーのためには、夏よりも冬の方が大事なのです。 逗子市においても、皆様一人ひとりが毎日の暮らしの中で省エネルギーの取組を実践していただくよう、ご協力をお願いいたします。

1世帯からのCO₂排出量 (電気・燃料等のエネルギー消費に伴うもの)



環境省資料より作成

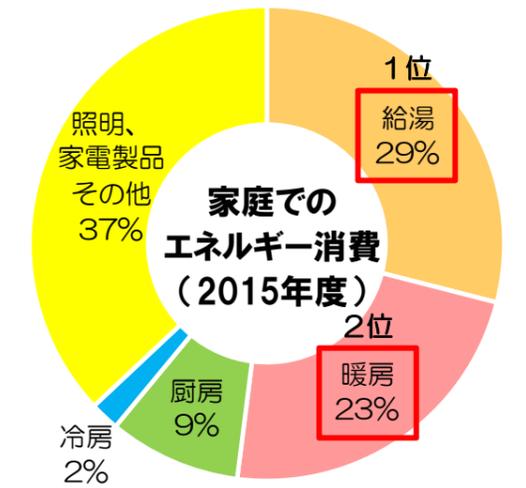
家庭でのエネルギー消費量 第1位は「給湯」

家庭で一番エネルギーを消費するものは「給湯」であり、全体の約30%を占めます。

水をお湯に変えるためには、大量のエネルギーを必要とします。冬は、お湯の使用量が増えることや、水温が下がることなどにより、お湯にするために多くのエネルギーを使っているのです。

今すぐ心掛けたい「節湯(せつゆ)」

お風呂や洗面所、台所など、暮らしの中でお湯を使う機会は多いものです。このとき、お湯の適量使用「節湯(せつゆ)」を心掛ければ、省エネルギーに大きな効果が得られます。



注: 自家用車でのエネルギー消費は除外
資源エネルギー庁資料より作成



平成29年12月

発行 逗子市 環境都市課
TEL 046-873-1111 (内線 456・457)
E-mail kankyo@city.zushi.lg.jp

逗子市では、平成29年6月10日（土）に、逗子市環境展において、
クールチョイス「COOL CHOICE」に賛同することを宣言しました。

宣言文

逗子市は、地球温暖化対策のための国民運動
クールチョイス「COOL CHOICE (=賢い選択)」

に賛同し、温暖化対策を推進します。

一人ひとりが「賢い選択」をし、「温室効果ガス排出の少ないまち」をめざします。

2017年（平成29年）6月10日

逗子市長 平井 竜一



市長と宣言文

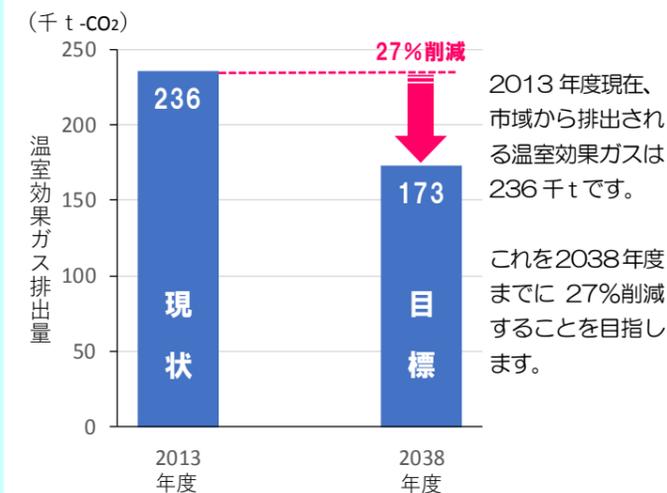


逗子市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

逗子市では、2017年3月に「逗子市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定しました。
本計画は、環境と経済が両立した持続可能な「低炭素社会」を実現するための取組の方向性を明らかにするものであり、市民や事業者が地球温暖化防止に向けた活動を主体的に取り組んでいくための市の方策を示すものです。

温室効果ガスの削減目標

2038年度において、2013年度比で27%削減



削減目標の実現に向けて、次の3つの基本方針を定め、温室効果ガスの排出抑制のための施策を総合的に推進していきます。

基本方針1 意識の変革と行動の実践

市民や事業者が自ら地球温暖化対策に取り組んでいくよう意識を変革するとともに、地球温暖化に資するライフスタイルやビジネススタイルを率先して実践できる仕組みづくりを進めます。

基本方針2 環境と経済の好循環の実現

地球温暖化対策と合わせて、地域における現状の問題点を解決し、地域を活性化できる取組を推進することにより、環境と経済の好循環の実現を進めます。

基本方針3 「歩いて暮らせる」まちづくり

再生可能エネルギーの利用促進とともに、マイカーへの依存を抑えた、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進め、新しい時代にふさわしい『人と環境にやさしいまち』を目指します。

※具体的な内容については、市のホームページにて公表している「逗子市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」をご覧ください。

<http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/kankyo/env/p06767.html>

(切り取り線)

「COOL CHOICE」ってなんだろう？

地球温暖化を防止するため、環境に配慮した「賢い選択」をすること、それがCOOL CHOICEです！

私たちもできるところからCOOL CHOICEを始めよう！

逗子市では、COOL CHOICEへの賛同を受け付けています。右の宣言に必要事項を記入し、市役所に持参してください。【窓口：環境都市課】

必要事項を記入してください。



個人名や住所は必要ありません。

私は「COOL CHOICE」に賛同し、行動することを宣言します。

(※参加の意思を表すものとしてチェックしてください)

メールアドレス

(無い方は、ニックネームの記載をお願いします。)

お住まいの都道府県

(都・道・府・県)

性別 男 女

年齢 10歳未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

日付 年 月 日

COOL CHOICE をどこでお知りになりましたか？

- | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> テレビ | <input type="checkbox"/> ラジオ | <input type="checkbox"/> 新聞 |
| <input type="checkbox"/> 雑誌 | <input type="checkbox"/> ポスター | <input type="checkbox"/> 自治体からの広報 |
| <input type="checkbox"/> 学校などの教育機関 | <input type="checkbox"/> 店頭・売り場の広告 | <input type="checkbox"/> イベント |
| <input type="checkbox"/> 環境省の公式WEBサイト | <input type="checkbox"/> 企業/団体のWEBサイト | <input type="checkbox"/> Twitter、Facebookなどのソーシャルメディア |
| <input type="checkbox"/> 上記以外の各種サイト | <input type="checkbox"/> 友人、知人、家族の話 | <input type="checkbox"/> その他() |

地球温暖化対策に関する様々な情報をメールマガジンでお送りしています。メールが不要な方はチェックしてください。

※賛同していただける方は、この宣言に必要事項を記入し、切り取って市役所（環境都市課）にお持ちください。

*環境省のホームページでも、賛同の手続を行うことができます。https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/lets_coolchoice/